

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成22年5月 ～

この「財政状況の公表」は、皆さんに、広域連合のお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を知っていただくため、5月に前年度の下半期分(前年10月1日から3月31日まで)の財政状況及び当該年度の当初予算、11月に当該年度の上半期分(4月1日から9月30日まで)の財政状況及び前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回の財政状況の公表は、平成21年度下半期(平成21年10月1日から平成22年3月31日まで)の6か月間の予算の執行や財産の状況、平成22年度の当初予算についての公表となります。

また、各項目の最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成 21 年度下半期財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下において説明する広域連合の財政状況については、平成22年3月31日現在の状況を記載しています。

1 平成21年度下半期の補正予算の概要

下半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

・第1号補正(10月)

歳入予算で平成20年度の精算に伴う保険料不均一賦課県負担金(26万7千円),平成20年度からの繰越金(1億4,018万5千円)を増額し,歳出予算では財政調整基金への積立金(1億2,706万8千円),特別会計の事務費に対する繰出金(1,338万4千円)を増額しました。

・第2号補正(2月)

歳入予算で事務費の国庫補助金(14万2千円),財政調整基金利子収入(40万8千円)を増額し,財政調整基金繰入金を減額(△7,502万3千円)しました。

歳出予算では特別会計事務費繰出金を減額(△7,488万1千円)し,財政調整基金利子積立金(40万8千円)を増額しました。

(2) 後期高齢者医療特別会計

・第3号補正(10月)

平成20年度の精算に伴い,歳入予算で市町負担金(5億4,642万円),高額医療費国庫負担金(5,596万7千円),療養給付費県負担金(6億6,651万8千円),支払基金交付金(14億8,874万7千円),延滞金(82万3千円),雑入(56万2千円)を増額し,歳出予算では療養給付費国庫負担金等の返還金(37億9,246万3千円)を計上しました。

また,後発医薬品希望カードの作成,送付のための経費(3,736万1千円),窓口端末の増設のための備品購入費(177万1千円),市町が行う制度の周知・広報及び相談体制整備に関する経費に対する補助金(827万6千円),給付準備基金積立金(8億2,542万7千円),保険料還付金の増額(1,984万円),保険料還付加算金の増額(67万9千円)を歳出予算に計上し,その財源として一般会計からの繰入金の増額(1,338万4千円),臨時特例基金からの繰入金の増額(1,727万4千円),平成20年度からの繰越金(18億7,937万2千円)を計上しました。

さらに,歳入予算で国の補助金変更により,後期高齢者検診補助金を減額(△3,750万4千円)し,後期高齢者医療制度事業費補助金(5,425万4千円)を計上しました。

・第4号補正(2月)

歳入予算で,長寿健康増進事業に対する特別調整交付金(8,000万円),特別高額医療費共同事業拠出金に対する国庫補助金(5,038万5千円),基金の利子収入(402万2千円)を増額し,特別高額医療費共同事業交付金(△4,663万8千円),給付準備基金繰入金(△3,831万9千円),事務費繰入金(△7,488万1千円)を減額しました。

歳出予算では,歳入で計上した長寿健康増進事業と同額(8,000万円)を市町への補助金として計上し,

また、基金の利子収入と同額(402万2千円)を基金への積立金として増額しました。

このほか、執行残見込額の予算整理等として、印刷製本費や通信運搬費、委託料などの事務費(△8,258万円)、特別高額医療費共同事業拠出金(△2,258万3千円)、国庫補助金返還金(△429万円)を減額しました。

・第5号補正(3月)

歳入予算で、国の2次補正予算措置分の高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金(18億5,828万8千円)及び、長寿健康増進事業に対する特別調整交付金(396万円)を増額し、同額を歳出予算で臨時特例基金積立金(18億5,828万8千円)及び市町が実施する保健事業への補助金(396万円)にそれぞれ追加計上しました。

この他、歳入予算で、保険料等負担金滞納繰越分(7,999万9千円)、高額医療費国庫負担金(2億4,061万円)、高額医療費県負担金(2億4,061万円)を追加計上し、更に8.5割軽減の財源補填分の臨時特例基金繰入金(3,285万5千円)を追加計上するとともに保険料等負担金の現年度分から同額(△3,285万5千円)を減額するなど、予算の整理を行いました。

● 下半期の一般会計補正予算の状況

(歳 入)

(単位:千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
分担金及び負担金	965,650	965,650			965,650
国庫支出金	8,924	8,924		142	9,066
県支出金	8,924	8,924	267		9,191
財産収入	1	1		408	409
寄附金	1	1			1
繰入金	100,000	100,000		△75,023	24,977
繰越金	1	1	140,185		140,186
諸収入	2	2			2
合 計	1,083,503	1,083,503	140,452	△74,473	1,149,482

(歳 出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
議会費	1,704	1,704			1,704
総務費	312,268	312,268	127,068	408	439,744
民生費	764,336	764,336	13,384	△74,881	702,839
公債費	195	195			195
予備費	5,000	5,000			5,000
合 計	1,083,503	1,083,503	140,452	△74,473	1,149,482

● 下半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第3号補正 (10月)	第4号補正 (2月)	第5号補正 (3月)	3月末現在 予算現額
市町支出金	50,277,283	49,973,022	546,420		47,144	50,566,586
国庫支出金	103,403,134	103,713,095	72,717	130,385	2,109,832	106,026,029
県支出金	25,286,920	25,286,920	666,518		240,610	26,194,048
支払基金交付金	137,600,823	137,600,823	1,488,747			139,089,570
特別高額医療費 共同事業交付金	80,667	80,667		△46,638		34,029
財産収入	2	2		4,022		4,024
寄附金	1	1				1
繰入金	3,722,374	4,026,635	30,658	△113,200	△535,338	3,408,755
県財政安定化 基金借入金	1	1				1
諸収入	109,909	109,909	1,385			111,294
繰越金			1,879,372			1,879,372
合 計	320,481,114	320,791,075	4,685,817	△25,431	1,862,248	327,313,709

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第3号補正 (10月)	第4号補正 (2月)	第5号補正 (3月)	3月末現在 予算現額
総務費	699,965	699,965	47,408	△2,580	3,960	748,753
保険給付費	319,297,059	319,297,059				319,297,059
県財政安定化 基金拠出金	268,869	268,869				268,869
特別高額医療費 共同事業拠出金	80,883	80,883		△22,583		58,300
保健事業費	75,010	75,010				75,010
基金積立金	3	304,264	825,427	4,022	1,858,288	2,992,001
公債費	7,809	7,809				7,809
諸支出金	26,516	32,216	3,812,982	△4,290		3,840,908
予備費	25,000	25,000				25,000
合 計	320,481,114	320,791,075	4,685,817	△25,431	1,862,248	327,313,709

2 平成22年3月31日現在の歳入歳出予算の執行状況

平成22年3月31日現在の予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況

(歳入)

(単位:千円)

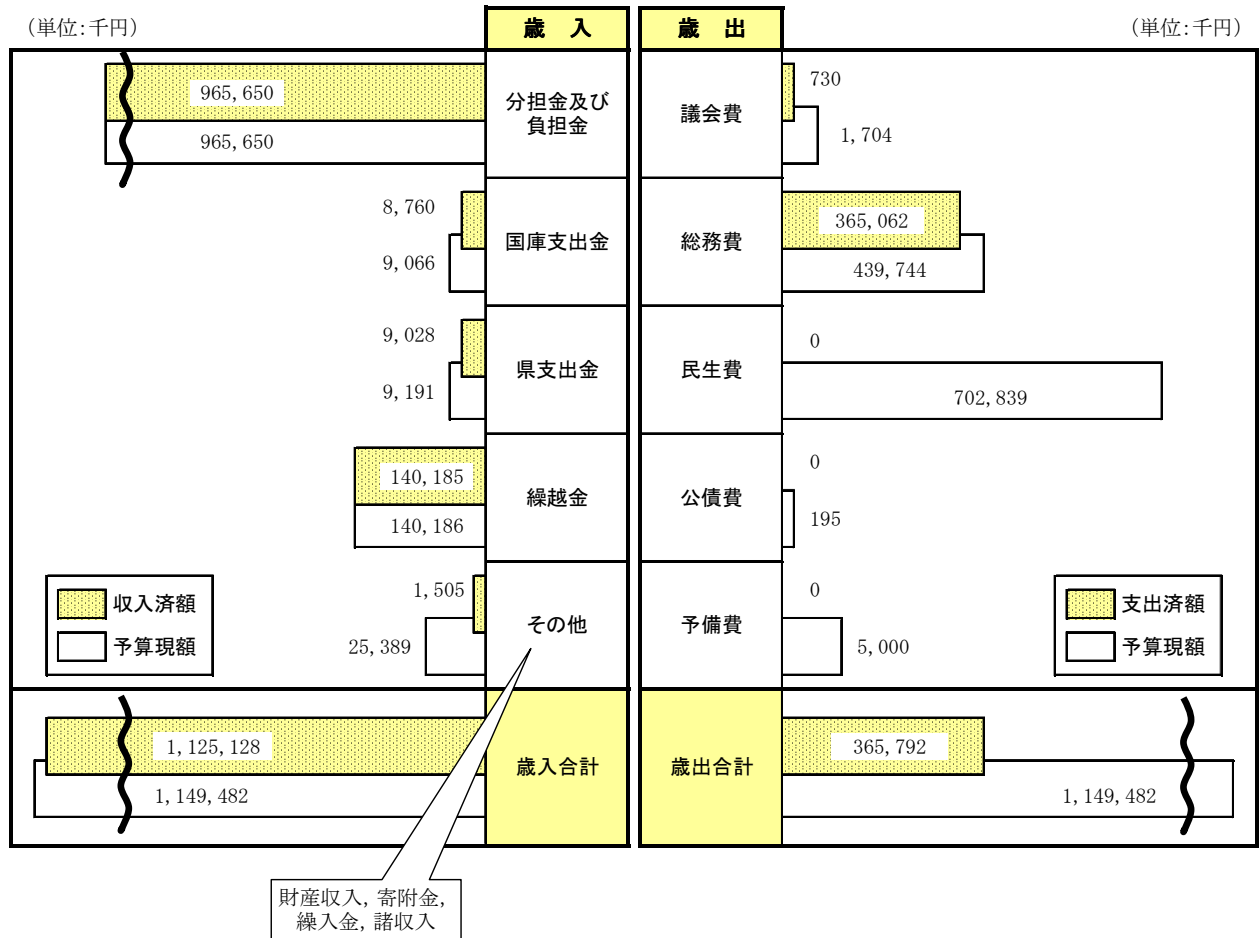
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	965,650	965,650	100.0%
国庫支出金	9,066	8,760	96.6%
県支出金	9,191	9,028	98.2%
財産収入	409	409	100.0%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	24,977	0	0.0%
繰越金	140,186	140,185	100.0%
諸収入	2	1,096	54,800.0%
合 計	1,149,482	1,125,128	97.9%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,704	730	42.8%
総務費	439,744	365,062	83.0%
民生費	702,839	0	0.0%
公債費	195	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,149,482	365,792	31.8%

グラフ「平成21年度一般会計予算の執行状況（平成22年3月31日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況

(歳入)

(単位:千円)

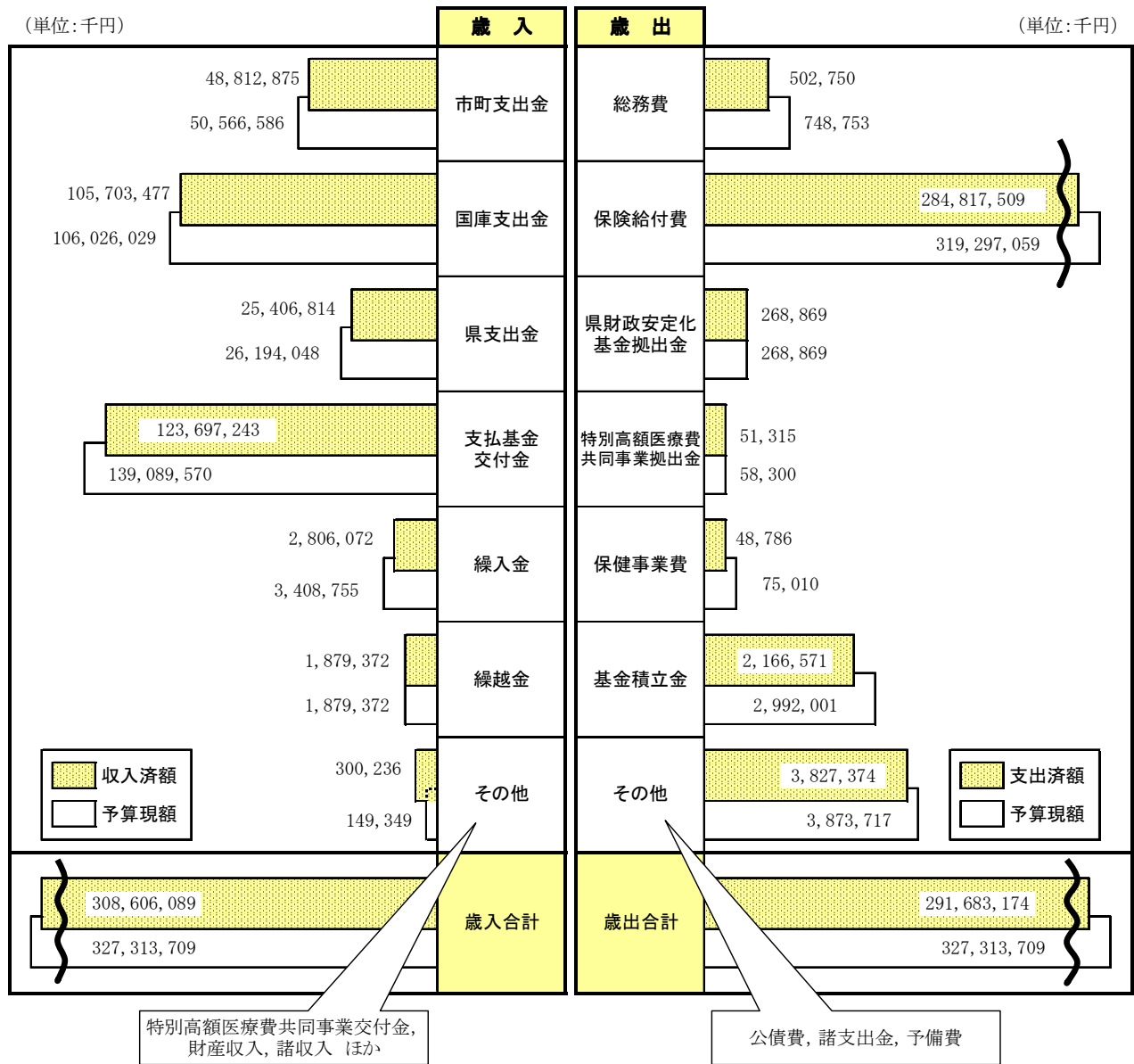
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	50,566,586	48,812,875	96.5%
国庫支出金	106,026,029	105,703,477	99.7%
県支出金	26,194,048	25,406,814	97.0%
支払基金交付金	139,089,570	123,697,243	88.9%
特別高額医療費 共同事業交付金	34,029	35,265	103.6%
財産収入	4,024	4,023	100.0%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	3,408,755	2,806,072	82.3%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	111,294	260,948	234.5%
繰越金	1,879,372	1,879,372	100.0%
合 計	327,313,709	308,606,089	94.3%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	748,753	502,750	67.1%
保険給付費	319,297,059	284,817,509	89.2%
県財政安定化 基金拠出金	268,869	268,869	100.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	58,300	51,315	88.0%
保健事業費	75,010	48,786	65.0%
基金積立金	2,992,001	2,166,571	72.4%
公債費	7,809	0	0.0%
諸支出金	3,840,908	3,827,374	99.6%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	327,313,709	291,683,174	89.1%

グラフ「平成21年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成22年3月31日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。
 財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。
 平成22年3月31日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【 物 品 】

区 分	数 量	摘 要
物 品	4	高速印刷機1台, 財務会計システム1式, 広域連合システムDBサーバ関連機器1式, 広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格 1 件 100 万円以上の物品)

【 基 金 】

名 称	区 分	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	債 権	0	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
	現 金	368,694,718	
	合 計	368,694,718	
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	債 権	145,903,247	被用者保険の被扶養者であった被保険者及び低所得の被保険者の保険料軽減措置の財源補てんのための基金
	現 金	2,257,433,518	
	合 計	2,403,336,765	
後期高齢者医療給付 準備基金	債 権	1,862,151,594	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金
	現 金	747,980,227	
	合 計	2,610,131,821	

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための年度内の短期借入金です。
 平成21年10月1日から平成22年3月31日までの間に、一時借入金の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降複数年にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するために認められているものです。

平成22年3月31日現在において、地方債の借入れはありません。

5 特別会計の設置状況

特別会計とは、特定の事業を行う場合又は特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置しているものです。

現在、広島県後期高齢者医療広域連合には、後期高齢者医療制度の運営のため、後期高齢者医療特別会計を設置しています。

平成 22 年度広域連合の当初予算

一般会計は、民生費を中心に前年度比で約 6,300 万円の減額となりましたが、これは、事務費の見直しを進めたことで、特別会計への繰出金が減額となったものです。

特別会計は、財政運営の基本として 2 年ごとに設定される特定期間が更新されることに伴い、平成 22・23 年度の新しい特定期間の給付費を中心とした歳出の見込額を算定し、これに基づいて、保険料率を改定した市町支出金、国庫支出金、県支出金、支払基金等の歳入を見込みました。

その結果、前年度比で約 170 億円の増額となりました。

1 一般会計

(歳 入)

(単位:千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
分担金及び負担金	850,810	965,650	△ 114,840
国庫支出金	6,451	8,924	△ 2,473
県支出金	6,451	8,924	△ 2,473
財産収入	5,998	1	5,997
寄附金	1	1	0
繰入金	150,000	100,000	50,000
繰越金	1	1	0
諸収入	944	2	942
合 計	1,020,656	1,083,503	△ 62,847

(歳 出)

(単位:千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
議会費	1,731	1,704	27
総務費	306,971	312,268	△ 5,297
民生費	706,759	764,336	△ 57,577
公債費	195	195	0
予備費	5,000	5,000	0
合 計	1,020,656	1,083,503	△ 62,847

2 後期高齢者医療特別会計

(歳入)

(単位:千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
市町支出金	52,965,978	50,277,283	2,688,695
国庫支出金	109,167,876	103,403,134	5,764,742
県支出金	28,550,288	25,286,920	3,263,368
支払基金交付金	144,038,979	137,600,823	6,438,156
特別高額医療費 共同事業交付金	59,600	80,667	△21,067
財産収入	2,403	2	2,401
寄附金	1	1	0
繰入金	2,467,838	3,722,374	△1,254,536
繰越金	1	0	1
県財政安定化基金 借入金	1	1	0
諸収入	257,386	109,909	147,477
合 計	337,510,351	320,481,114	17,029,237

(歳出)

(単位:千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
総務費	672,156	699,965	△27,809
保険給付費	336,060,505	319,297,059	16,763,446
県財政安定化基金 拠出金	309,607	268,869	40,738
特別高額医療費 共同事業拠出金	59,816	80,883	△ 21,067
保健事業費	63,012	75,010	△ 11,998
基金積立金	268,920	3	268,917
公債費	3,904	7,809	△ 3,905
諸支出金	47,431	26,516	20,915
予備費	25,000	25,000	0
合 計	337,510,351	320,481,114	17,029,237

【市町からの事務費分担金の各市町の平成22年度分担額】

広域連合の事務費は、そのほとんどが市町の手分担金によって賄われています。

平成22年度の各市町の手分担金額は、広域連合規約で定められた割合(均等割10%, 高齢者人口割50%, 総人口割40%)により算出しています。

(単位:千円)

	分担金額	総額に 占める割合
広島市	271,819	31.9%
呉市	78,758	9.3%
竹原市	13,601	1.6%
三原市	35,444	4.2%
尾道市	52,015	6.1%
福山市	122,261	14.4%
府中市	18,232	2.1%
三次市	24,578	2.9%
庄原市	20,969	2.5%
大竹市	12,539	1.5%
東広島市	46,665	5.5%
廿日市市	34,123	4.0%
安芸高田市	15,988	1.9%
江田島市	14,156	1.7%
府中町	15,326	1.8%
海田町	10,081	1.2%
熊野町	9,818	1.2%
坂町	7,527	0.9%
安芸太田町	7,402	0.9%
北広島町	11,646	1.4%
大崎上島町	7,589	0.9%
世羅町	11,140	1.3%
神石高原町	9,133	1.1%
合計	850,810	100.0%

※分担金の計算に用いる基礎数値

(単位:人)

高齢者人口	総人口
99,879	1,172,977
35,104	248,753
4,883	30,002
15,014	103,348
23,406	151,110
48,386	471,653
7,100	44,792
10,709	58,675
9,480	41,599
4,114	29,521
16,470	182,792
12,645	118,483
6,459	32,800
5,459	28,314
4,268	51,570
2,278	29,025
2,373	25,719
1,717	13,501
2,129	7,837
4,235	20,554
2,178	8,886
4,018	18,655
3,148	11,239
325,452	2,901,805

(注)

- ・端数処理の都合で割合の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・「高齢者人口」:平成21年9月30日現在の75歳以上の住民基本台帳及び外国人登録原票登録人口
- ・「総人口」:平成21年9月30日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票登録人口

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する 2 3 市町からの事務費分担金
国庫支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の 1/2 の国庫負担金
県支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の 1/2 の県負担金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	広域連合に対する寄附金
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の 3/12 相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	医療費に対する寄附金
繰入金	一般会計、臨時特例基金、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費（国・県・広域連合の負担率各 1/3）
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う後期高齢者医療制度被保険者の健康診査に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金、給付準備基金に積み立てる経費
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	保険料に還付金が生じた場合の還付加算金
予備費	不測の支出に備えるための経費

